

# 不登校

## どう向き合う

文部科学省が8月に発表した「2013年度学校基本調査」によると、「不登校」の児童生徒数は約11万2400人。全児童生徒数に占める比率は1.09%だった。同省の定義では、不登校とは精神的、身体的な理由などで年間30日以上、学校を欠席した児童・生徒を指す。ただ子を持つ親にとっては、定義に完全に当てはまらなくても不安を抱くことがあるだろう。そんな時に親はどのように子どもと向き合い、対処すればよいのだろうか。

### 将来のために今やること

#### 福岡県立大学

福岡県田川市にある福岡県立大学は九州でも珍しく、「不登校・ひきこもりサポートセンター」を付属研究所として持つ。07年に開設。不登校の子や親からの電話、メールなどによる相談や研究・講演活動を実施している。また小学校から高校までの児童・生徒が通うスクールを備え、実践的な取り組みも行っている。学校や行政とも異なる独特のスタンスの施設だ。

大学施設であるため、学生がボランティアで参加し、子どものサポートをするのが大きな特徴。センターの専門研究員である黒岩達也さんは「学校を管轄する市町村とは組織的に別で、必ずしも「学校に戻す」ことを目的としないためだ。学校に行かないことを良しとするわけではなく、家以外に安心できる空間を広げていくことを重視する。しかし学校に行かないことで学力が追いつけなかったり、社会性を養えなかったりしたら、子どもの将来の損失になる。そこでキャンパス・スクールでの学習支援や集団行動

体験を通して補完する。「社会的行動のなかで、いろいろな人がいることを認めて成長する」(本田さん)ためだ。

元の学校に戻れる子どもや、小学校には行けなかったが中学校からは通学できるようになる子どももいる。「親には10年先くらいを見てほしい」と言っている。(黒岩さん)。

電話相談などに対応している専門研究員で臨床心理士の大場綾沙美さんは「親が思い詰めている」と訴える。「親が子に気を使いつけて、仕事や趣味を止めてしまったり、逆に子どもが自分を追いこめることにもなる」という。親もブレッシングを感じているはずだが、視野を狭めてはいけなかった。



農業や体育、バスハイクなどを通して集団行動に親しむ



キャンパス・スクールの教室

### 「行かない」本当の理由

#### 不登校支援センター

不登校対策には民間の支援機関も多く存在する。一般社団法人の不登校支援センター(東京都台東区)は全国10支部で、不登校の子どもと親に対する問題解決を手助けしている。心理テストやカウンセリングを通して真の原因を究明し、コーチングによってそれを克服する方法を取る。福岡支部(福岡市博多区)では女性カウンセラー2人が常駐。予約制で有料のカウンセリングを行っている。カウンセラーで

もある常務理事の小杉義貴さんは「表面原因だけを解決してもだめ」と力を込める。

はサポート・リーダー(調整役)だと小杉さんは説明する。そのため同センターでは1回100分のカウンセリングで、必ず親・子・親の順番で面接する。小杉さんは「不登校は一つの症状」と、身近な病気にたとえて解説する。「くしゃみの原因は風邪かもしれないし、インフルエenzaかもしれない。花粉症ということがある。それそれぞれ対処法は違う」という。また「くしゃみを必ずしも止めない方がいいこともある」ともいう。同センターが考えるゴールは、「根本原因を取り除き、再発しないこと」(小杉さん)だ。



心理テストも活用する

では子どもが学校に行きたくないと言いついたら、親はどうすればいいのか、小杉さんは「二つのことに注意すべきだ」という。

まず一つは、子どもが学校に行きたくない気持ちに二つ目として、学校に行かないことを認めてはいけないう。特別扱いをすれば、子どもは無意識に自身を正当化する。「自分が主様で、親や先生を家来だと思ってしまう」という。そのため子どもに共感した上で、甘やかすのではなく、真の問題を掘り下げるよう努めるべきだという。

### シグナルを見逃さない

「13年度学校基本調査」での不登校児童生徒の全児童生徒に占める割合は1.09%。これは前年度比0.03%減、01年の1.23%からも減少した。だが、91年の0.47%と比較すれば高止まりしている。不登校について聞いて、必ず返ってくるのが「原因は十人十色」ということば。子どもとはいえ、大人と同じように環境はそれぞれ違う。今回紹介した施設でも、問題解決のアプローチやスタンスはそれぞれ異なる。そのためすべての子どもに当てはまる答えはないようだ。

ただ不登校という行動は、子どもが発するシグナルであるということとは共通していた。親子のコミュニケーションがカギになるのかもしれない。



子育て相談にも応じてもらえる「えがお館」

### 成功体験を力に

#### 福岡市教委

子どもや親にとって一番身近な存在は、通っている学校だろう。それでは小中学校を所管する教育委員会は、不登校に対してどのような対応を取っているのか。

福岡市中央区のヤフオクドーム東側に立つ福岡市こども総合相談センター「えがお館」。ここには福岡市の保健・福祉・教育分野の部門が入り、子どもに関する問題に対して横断的に専門的な相談と支援を行っている。対象は0・20歳と広く、不登校についてもカウンセリングや相談を受け付けている。福岡市教育委員会教育相談課長の古川久記さんは「不登校になった子どもたちを学校で市内3小学校にも設けている」と説明する。

えがお館には適応指導教室「はまがせ学校」が併設されている。適応指導教室とは学校復帰を支援するもの。週5日間開いており、市内在住の不登校児童や生徒を最大40人受け入れる。ブレイク・ルームや屋内運動場も備えている。学校には通えないが同教室には通えるということで、子どもに自信をつける。「成功体験を得て、心のエネルギーを上げる」(古川さん)。

一方、小中学校から配置の要請が増える傾向にあり、不登校の低年齢化の懸念も始めているという。

教育委員会としては、不登校の早期発見や早期解決に対しても対策を行っている。離島を除く福岡市立の中学校67校と高校4校には、常駐ではないが臨床心理士の資格を持つスクールカウンセラーを配置。悩みを相談しやすい体制をつくっている。カウンセラー制度により、不登校の人数は減少してきている。「09年まで1000人を超えていたが、10年以降は1000人を切っている」(古川さん)。

問い合わせ  
 ▷福岡県立大学 不登校・ひきこもりサポートセンター  
 〓0947・42・1343  
 ▷不登校支援センター〓052・485・9421(西日本統括本部)  
 ▷福岡市こども総合相談センター〓092・833・3000

新たな食ビジネスを構築する

## 第24回 西日本 食品産業創造展'14

PROFESSIONAL FOODSERVICE, INDUSTRY & CREATION

会期 2014年 5月21日(水)▶23日(金) 会場 マリンメッセ福岡  
 10:00~17:00(最終日は16:00まで) 主催 日刊工業新聞社

### 出展対象

- 外食・中食(弁当・惣菜)・給食産業ブロック**  
 ◎1小間(Aタイプ)／間口3000×奥行3000×壁高2700mm…230,000円+消費税
- 製菓・製パン機器ブロック**  
 ◎1小間(Aタイプ)／間口3000×奥行3000×壁高2700mm…230,000円+消費税
- 食肉・水産・農産加工機器ブロック**  
 ◎1小間(Aタイプ)／間口3000×奥行3000×壁高2700mm…230,000円+消費税
- 衛生・品質管理ブロック**  
 ◎1小間(Aタイプ)／間口3000×奥行3000×壁高2700mm…230,000円+消費税
- 店舗サービス・店舗開設・販売支援ブロック**  
 ◎1小間(Aタイプ)／間口3000×奥行3000×壁高2700mm…230,000円+消費税

- 包装資材ブロック**  
 ◎1小間(Aタイプ)／間口3000×奥行3000×壁高2700mm…230,000円+消費税
- 食品業界を支える物流コーナー**  
 ◎1小間(Aタイプ)／間口3000×奥行3000×壁高2700mm…230,000円+消費税
- 工場設備コーナー**  
 ◎1小間(Aタイプ)／間口3000×奥行3000×壁高2700mm…230,000円+消費税
- 介護・医療食コーナー**  
 ◎1小間(Aタイプ)／間口3000×奥行3000×壁高2700mm…230,000円+消費税  
 ◎1小間(Bタイプ)／間口2100×奥行1800×壁高2700mm…150,000円+消費税
- 原材料・食材ブロック(食材のみ対象)**  
 ◎1小間(Aタイプ)／間口3000×奥行3000×壁高2700mm…230,000円+消費税  
 ◎1小間(Bタイプ)／間口2100×奥行1800×壁高2700mm…150,000円+消費税

詳しくはWEBで! 西日本食品展 検索

## 食の未来がここにある

届けたい「夢」と受け取りたい「想い」

21日・22日は  
商談中心の  
ビジネスデー

### 出展募集中!

申し込み締切  
 2014年1月24日(金)

展示会のお問い合わせ／日刊工業新聞社 西部支社 展示会事務局  
 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町1-1 TEL.092-271-5715 FAX.092-271-5881

http://www.nikkanseibu-eve.com/food/ E-mail foodinfo@media.nikkan.co.jp